

# 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第36-51-00004号		
件名	札幌市水道局地震計点検業務		
入札(見積)年月日	令和 3年 10月 6日	午前10時 00分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	1,100,000 円	主管課	36 配水センター
	<small>入札(見積)価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000020340 美和電気工業(株)北海道支社		

## 入札（見積）経過

(単位：円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第1回	最低金額	第2回	最低金額	第3回	最低金額	
美和電気工業(株)北海道支社		1,000,000					落札
(備考)							



# 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第52-21-00380号		
件名	東区ほか減圧弁点検整備業務 №.5-6401		
入札（見積）年月日	令和 3年 10月 6日	午前10時 00分	
入札（見積）場所	水道局総務部総務課入札室		
落札（決定）金額	4,565,000 円	主管課	52 北部配水管理課
	<small>入札（見積）価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札（決定）金額である。</small>	最低制限価格	
工種（業種）	290 その他	円	
落札（決定）業者	60000020700（株）森田鉄工所 北海道営業支店		

## 入札（見積）経過

(単位：円)

指名（見積）業者名	入札（見積）金額						価格交渉金額
	第 1 回	最 低 金 額	第 2 回	最 低 金 額	第 3 回	最 低 金 額	
(株) 森田鉄工所 北海道営業支店							決定
	4,380,000		4,300,000		4,200,000		4,150,000

(備考)



## 業者特定理由書

下記の理由により見積業者を特定することといたしたい。

### 記

- 1 件名 東区ほか減圧弁点検整備業務 No. 5-6401
- 2 業者名 株式会社 森田鉄工所 北海道営業支店
- 3 特定理由 当該業務は、配水区域内での適正水圧の提供を目的とし設置した減圧弁の不具合に対し、適正に作動するよう点検・整備を行うものである。また、減圧弁が故障した際は、お客様への給水に重大な影響を及ぼす恐れがあるため、不具合が判明した場合は、速やかに分解整備（修理）を行わなければならない。緊急を要する点検に必要な交換部品を常に確保し迅速に対応することが求められる。  
これらの減圧弁については、各製造業者独自の仕様となっているため、分解整備にあたっては、製造業者（製造業者から業務移管を受けた保守業者を含む）による高度な技術が必要で、交換部品も製造業者以外は保有していないことから、製造業者が点検・整備を行うことで継続した機能補償が担保される。  
以上のことから、当該業務の確実な履行や緊急性に対応できるのは、製品の構造を熟知している製造業者しかいないことから、上記業者を特定する。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。

# 入札（見積）結果調書

令和 3 年度

契約番号	第54-21-00454号		
件名	豊平区中の島地区減圧弁点検整備業務 No.7-6402		
入札（見積）年月日	令和 3年 10月 6日	午前10時 00分	
入札（見積）場所	水道局総務部総務課入札室		
落札（決定）金額	1,080,200 円	主管課	54 南部配水管理課
	<small>入札（見積）価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札（決定）金額である。</small>	最低制限価格	
工種（業種）	290 その他		円
落札（決定）業者	60000004350（株）栗本鐵工所 北海道支店		

入札（見積）経過 (単位：円)

指名（見積）業者名	入札（見積）金額						価格交渉金額
	第 1 回	最低金額	第 2 回	最低金額	第 3 回	最低金額	
(株) 栗本鐵工所 北海道支店		982,000					決定

(備考)



## 業者特定理由書

下記の理由により見積業者を特定することといたしたい。

### 記

- 1 件 名 減圧弁点検整備業務
- 2 業 者 名 株式会社 栗本鐵工所 北海道支店
- 3 特定理由 当該業務は、配水区域内での適正水圧の提供を目的とし設置した減圧弁の不具合に対し、適正に作動するよう点検・整備を行うものである。また、減圧弁が故障した際は、お客様への給水に重大な影響を及ぼす恐れがあるため、不具合が判明した場合は、速やかに分解整備（修理）を行わなければならない。緊急を要する点検に必要な交換部品を常に確保し迅速に対応することが求められる。  
これらの減圧弁については、各製造業者独自の仕様となっているため、分解整備にあたっては、製造業者（製造業者から業務移管を受けた保守業者を含む）による高度な技術が必要で、交換部品も製造業者以外は保有していないことから、製造業者が点検・整備を行うことで継続した機能補償が担保される。  
以上のことから、当該業務の確実な履行や緊急性に対応できるのは、製品の構造を熟知している製造業者しかいないことから、上記業者を特定する。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。